



バイオスティミュラント



fullbody®



フルボディ



土壌環境の改善 に効果的!

フルボ酸・フミン酸・海藻

灌注処理用(養液土耕栽培)

土壌環境の改善

土壌の微生物および物理化学的性質を改善します。

健苗育成

根張りを良くし、苗質を向上させます。

定植時のストレス軽減

定植後の活着を早めます。

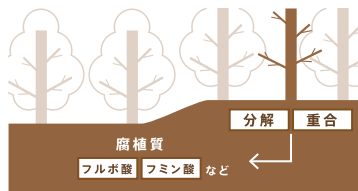


使用原料

フルボ酸・フミン酸配合

動植物などが微生物による分解や重合を繰り返して形成された生成物である腐植のうち、酸性の無定形高分子有機物等のことを言います。

製品分析値 (保証するものではありません)
フルボ酸10.66%, フミン酸4.89%, 合計15.55%



※模式図

海藻抽出物使用 *Ascophyllum nodosum*

North Atlantic 沿岸の高品質原料を使用しています。

肥料成分

- 登録番号 輸第104897号
- 肥料の種類 液状複合肥料
- 保証成分(%)
 - 窒素全量(TN) 8.0
 - 水溶性りん酸(WP) 5.0
 - 水溶性加里(WK) 5.0

使用方法

作物名	散布時期	目的と効果	希釈倍数(倍)	使用方法
葉菜類	育苗時~定植前	定植ストレス軽減 根張り強化	1000~2000 (500ml/セルトレイ)	土壌灌注 (又は葉面散布)
	生育期		1000~2000	
果菜類	育苗時~定植前		1000~2000 (500ml/セルトレイ) (2.5ℓ/ポット苗100株)	
	生育期		1000~2000	
芝	更新時 (春~秋)	100以上 (100~200ml/㎡)		

※養液土耕栽培に使用できます。



OATアグリオ株式会社

®はOATアグリオ(株)の登録商標



fullbodyに含まれる「フミン酸・フルボ酸」と「海藻」とは

フルボ酸・フミン酸

① 物理的効果: 土壌の団粒形成の促進

- ・根が伸びやすい環境を作ります。
- ・土壌自体の呼吸や酸素活性を高めます。
- ・土壌の通気性や吸水性を良くします。

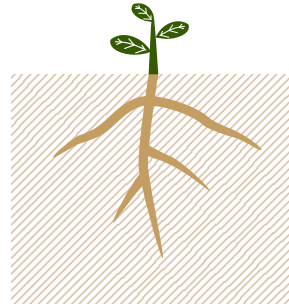
② 化学的効果: 土壌の緩衝能力・保肥力の向上

③ 生物的效果: 根張り向上、有用微生物群の増殖

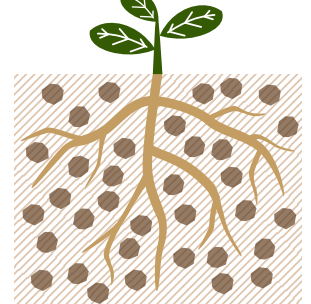
海藻

海藻中に含まれる天然物質が根の伸長を促し、定植ストレスを軽減します。

単体構造の土壌



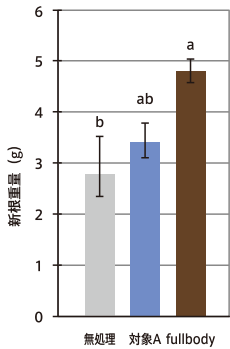
団粒構造の土壌



※模式図

試験事例

トマト: 活着促進



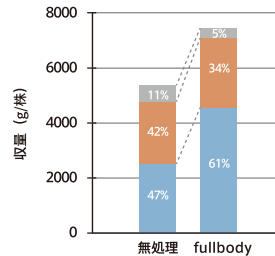
- 品 種: CF桃太郎はるか
- 処 理: 1/5000aポットに定植した直後にfullbody 1000倍希釈液を灌注処理(200ml/株)。
- 調査項目: 処理1週間後に根鉢から新たに発生した新根を切り取り重量を計測した。

fullbodyの灌注処理により新根重量が増加、活着促進効果を確認した。

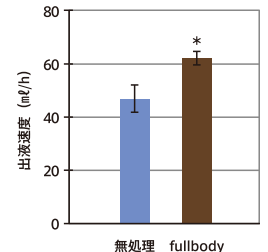
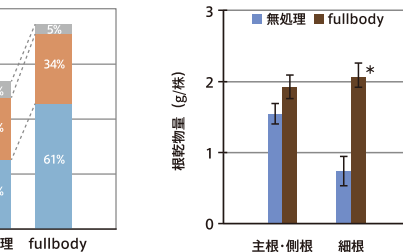
※異なるアルファベット間において1%水準で有意差があることを示す。(Tukey-kramer法)

試験地: OATアグリオ株式会社栽培研究センター(2019年)

キュウリ: 養液土耕栽培での灌注効果



- 規格外
 - B品(曲がり4cm以内)
 - A品(曲がり2cm以内)
- 期間: 2019年1月21日~2019年4月25日
- 処理: 定植直後から1000倍希釈液を500ml/株/週灌注処理(通常はタンクミックスA&Bで栽培、無処理は同量の養液成分相当をタンクミックスA&Bで処理)
- 調査: 収量、根乾物重及び出液速度(栽培終了後、主茎を地際から10cmで切り取り切断面に脱脂綿を設置し一定時間静置したのち脱脂綿の重量増加から出液速度を算出)



細根の増加(2.7倍)により養水分吸収が活発(+32%)になった結果、明確な増収効果がみられ、曲がり果の発生率が低下した。

試験地: OATアグリオ株式会社栽培研究センター(2019年)

ハクサイ苗: 根鉢形成

無処理



対象A



fullbody



- 品種: 黄ごころ80
- 処理: 播種18日後に1000倍希釈液を500ml/セルトレイ灌注処理
- 調査: 処理8日後に苗を抜き取り、根鉢形成を観察した。

fullbody 処理により苗抜き取り時の根域の崩れが大幅に減少した。

試験地: OATアグリオ株式会社栽培研究センター(2019年)

△ 使用上・保管上の注意

1. 肥料以外の用途には使用しないでください。
2. 幼児等の手の届かない場所に保管してください。
3. 使用後は洗眼やうがいをし、皮ふに付着した場合は洗い流してください。
4. 眼に入った場合は、直ちに多量の水で洗い、できるだけ早く医師の診断を受けてください。
5. 誤って飲み込んだ場合は、できるだけ早く医師の診断を受けてください。
6. 静置すると有機成分由来の沈殿が発生することがありますので、よく振って内容物を均一にしてからご使用ください。
7. 他の肥料との混用は、沈殿や結晶が発生しない場合のみご使用ください。
8. 希釈液は腐敗しやすいので、その日のうちに使いきってください。
9. 高温時における日中の使用はさけてください。
10. 氷点下になると結晶が発生したり、高温になる場所(温室など)では沈殿が発生するおそれがありますので、直射日光を避け、密栓し、室内の冷暗所で保管してください。
11. 養液土耕栽培に使用する場合には、給液後に必ず水又は液肥で点滴チューブを洗浄してください。
12. 開封時に製品の特性上特有の臭気(アンモニア臭)がしますので、直接顔を近づけないでください。

取り扱い